

はじめて学ぶ初心者のための 治具設計の基礎知識

～加工・組立・調整・検査の効率をあげる～

日時 2024年8月27日(火) 10:00～17:00
(9:30 受付開始)

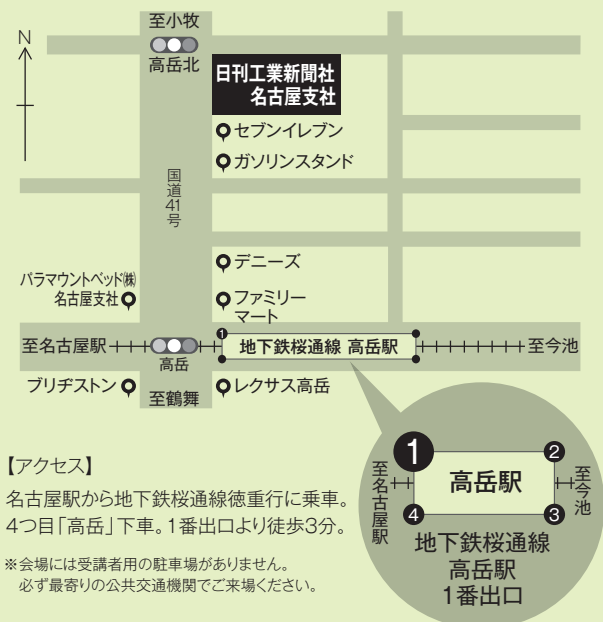
※昼食のご用意がございませんので、ご準備いただくか休憩時間内に外食いただきますようお願い申し上げます。(休憩時間の会場内飲食は可能)

会場 日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム 名古屋市東区泉2-21-28

受講料 48,400円(資料含む、消費税込)

※日本金型工業会、中部プラスチック連合会の正会員の方は15%割引とさせていただきます。

日刊工業新聞社 名古屋支社 会場案内図



【アクセス】

名古屋駅から地下鉄桜通線徳重行に乗り、4つ目「高岳」下車。1番出口より徒歩3分。

※会場には受講者用の駐車場がありません。
必ず最寄りの公共交通機関でこ来場ください。

受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をご郵送いたします。
申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせていただきます。ご了承ください。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、下記申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日までに銀行振込にてお支払いください。
振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

申込・問合せ

日刊工業新聞社 名古屋支社 イベントG
TEL 052 (931) 6158 (直通) FAX 052 (931) 6159

受講 申込書

8/27 治具設計

お申し込みは

<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>

会社名	フリガナ	業種	
氏名	フリガナ	TEL	
	部署・役職	FAX	
所在地	〒	E-mail	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/>
備考			<input type="checkbox"/> 日本金型工業会正会員 <input type="checkbox"/> 中部プラスチック連合会正会員

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。

なお、メールの宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【連絡先】日刊工業新聞社 dbopr03@nikkan.tech

郵送による宛先変更・発送停止をご希望の際は、本紙を封入していた封筒のダイレクトメールの調査欄をご記入の上、本ページ中央部右下に記載の[申込・問合せ]連絡先へFAXにてご連絡ください。

No.247560

開催主旨

モノづくりにおいて「位置決め」と「固定」は業種を問わず共通の必要機能です。工具や工作物の位置を決めて固定することで、加工や組立調整、検査をおこないます。この位置決めや固定をワンタッチでおこなう治具を用いることで、誰もが容易に作業できるようになり、品質のバラツキが減り、短時間で作業をおこなうことができるようになります。すなわち治具は現場で必要とされるQCD（品質・コスト・納期）を達成させる有効な手段です。

また昨今は製品寿命も短いので、高価な生産設備では償却できません。反面、治具は低コスト・短期間で対応可能なことも大きなメリットです。

治具は人手作業の効率化を狙うので、本セミナーではハード面の「メカ設計の知識」だけでなく、ソフト面の「作業設計の知識」もお伝えします。作業設計では、演習キットを用いたグループ演習で体感しながら理解を深めます。セミナーのレベルは、はじめて治具を設計する方が対象です。開発部門、設計部門、製造部門、検査部門など広い職種からのご参加をお待ちしています。

サブテキストとして、講師の著書「はじめての治具設計」（日刊工業新聞社刊）を当日お渡しします。

受講対象者

- ・ はじめて治具設計をおこなう初心者
- ・ 開発、設計、製造、検査担当者
- ・ 治具設計の基礎知識を学び直したい方

得られるスキル

- 1) 治具の基本要素となる「位置決め方法」と「固定方法」を習得する
- 2) 人が主体となる治具の「作業性」と「段取り性」を習得する
- 3) 治具図面の描き方のコツを習得する

講師

ジン・コンサルティング代表 生産技術コンサルタント **西村 仁氏**

【略歴】1985年に立命館大学理工学部機械工学科卒業後、村田製作所に入社。生産技術部門で21年間、電子部品の組立装置や測定装置等の新規設備開発を担当し、村田製作所グループ全社への導入多数。製品特許、および機構特許を多数保有。生産工程設計、工程改善、社内技能講師にも従事。2006年に立命館大学大学院経営学研究科修士課程修了。2007年に独立し、製造業およびサービス業での生産性向上支援、および技術セミナー講師として教育支援を行う。経済産業省プロジェクトメンバー、中小企業庁委員等歴任。立命館大学大学院経営管理研究科（ビジネススクール）非常勤講師。著書「図面の読み方がやさしくわかる本」（日本図書館協会選定図書）、「図面の描き方がやさしくわかる本」、「加工材料の知識がやさしくわかる本」「機械加工の知識がやさしくわかる本」（以上、日本能率協会マネジメントセンター）、「基礎からよくわかる品質管理と品質改善のしくみ」（日本実業出版社）。その他多数。

プログラム

1. 治具の概要をつかむ

- 1.1 モノづくりにおける治具の位置づけ
- 1.2 治具を導入する狙い

2. 治具による位置決め

- 2.1 位置決めの基本
- 2.2 具体的な位置決め方法
(角形状と丸形状の12種)
- 2.3 各位置決め設計のコツ

3. 部品の固定

- 3.1 固定の原理と簡単な力学
- 3.2 固定方法の種類
- 3.3 ねじ固定方法の工夫による作業性向上

4. 作業性と段取り性を設計する

- 4.1 動作のムダを無くす
- 4.2 演習キットで作業性を体感する
(グループ演習)
- 4.3 段取り改善の効果と事例

5. 各種治具の事例紹介

6. 治具図面の描き方のコツ

- 6.1 基準の考え方
- 6.2 簡単な幾何公差を活かす
- 6.3 材料選定のコツ
- 6.4 構造・設計時の注意点

7. まとめと質疑応答